

【消費生活用製品安全法に基づくトヨタミからの報告】

■重大製品事故一覧

■重大製品事故一覧					更新日	2022年3月17日 (令和4年)	
管理番号	事故発生日	製品名	機種・型式	事故概要	公表日	被害状況	発生場所 〇〇県
A201500791	2016年1月13日 (平成28年)	石油温風暖房機(開放式)	NLC-32E4	当該製品のスイッチを入れたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。当該製品に異常燃焼の痕跡は認められなかったが、焼損が著しく、確認できない部品があったことから、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	2016年2月5日 (平成28年)	火災	山口県
A201500725	2016年1月14日 (平成28年)	石油温風暖房機(開放式)	LA-SDX32C	異臭がしたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品の基板上の部品が故障したことにより、運転停止状態の燃焼・温風対流用モーターに電圧が出力されたため、モーターが回転せず異常発熱し、周辺の樹脂部が溶融したものと考えられるが、コントローラー基板上の部品が故障した原因の特定には至らなかった。	2016年2月26日 (平成28年)	火災	岩手県
A201600439	2016年10月30日 (平成28年)	石油ストーブ(開放式)	RCA-880	当該製品を使用中、建物を全焼する火災が発生し、1名が重傷を負った。当該製品の使用状況を含め、当該製品の残存する部品から出火や異常燃焼の痕跡は認められず、灯油を含んだ可燃物に着火した可能性が考えられるが、焼損が著しく、製品起因か否かを含め、事故原因の特定には至らなかった。	2016年11月15日 (平成28年)	火災:重傷 1名:CO中毒	北海道
A201600539	2016年12月12日 (平成28年)	石油給湯機付ふろがま	BSF-3100	当該製品を使用中、当該製品を焼損する火災が発生した。当該製品は、長期使用(25年)により、バーナートップの点火性能及び燃焼温度を安定させるための部品(青炎キャップ)の破損により燃焼状態が悪くなり、缶体底部の耐火材に未燃灯油が染み込むとともに缶体と耐火材の隙間から缶体ベースに漏れ出した未燃灯油に、燃焼時に強風で缶体の隙間やバーナー部の空気取入口の隙間等からあふれ出た高温の燃焼ガスが引火したものと推定されるが、使用者が燃焼が断続的になる等の不調があった状態で使用を継続したことも事故発生に影響したものと考えられる。	2017年1月6日 (平成29年)	火災	茨城県

事故原因	確認方法	確認者	確認日
原因不明	nite事故情報検索	大岩	2022年3月17日
原因不明	nite事故情報検索	大岩	2022年3月17日
原因不明	nite事故情報検索	大岩	2022年3月17日
経年劣化	nite事故情報検索	大岩	2022年3月17日